



令和4年8月31日
海上保安庁

新時代の海洋情報業務 ～第151回水路記念日企画展示～

150年にわたる歴史の中で、海洋情報業務は、調査技術・情報インフラの高度化や社会ニーズの多様化に対応してその射程を拡大してきました。
今般、9月12日の水路記念日に併せ、現在の海洋情報業務をパネルで紹介するとともに、今後の業務を担う海上保安学校学生の実習等の活動を写真で紹介します。

1 開催期間

令和4年9月9日（金）から12月23日（金）まで
水、金、日曜日（9月のみ月曜日も開館）
午前10時00分～午後5時00分 入館無料

2 場所

国土交通省青海合同庁舎
海上保安庁海洋情報資料館 東京都江東区青海2-5-18（下図参照）

3 主な展示内容

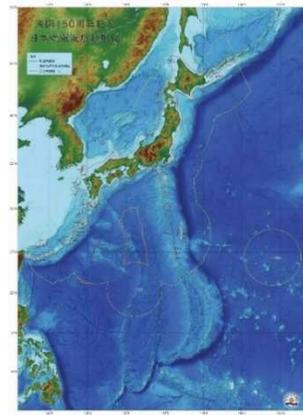
- ・最新の測量船や測量機のパネル
- ・海底地形図と新しい海図シリーズ JPN1
- ・海洋状況表示システム（海しる）のパネル
- ・海上保安学校海洋科学課程の活動写真



水路記念日

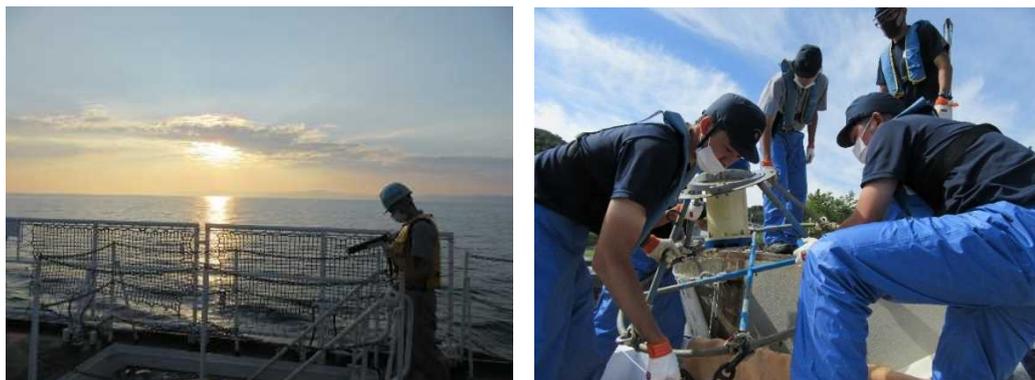


最新の測量船



海底地形図

海上保安学校展示写真の例



乗船実習、測量実習の写真を中心に 18 枚の写真を展示します。

4 その他

- (1) 海洋情報資料館では、今回の企画展示のほか、常設展示として、伊能図の模写図や海外の古地図、歴史的な測量機器など、海洋調査等に関する貴重な歴史的資料がご覧いただけます。
- (2) 来館の際は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、手指消毒、マスクの着用にご協力ください。

※ 海上保安庁では、現海上保安庁海洋情報部の前身である兵部省海軍部水路局の設立を記念し、9月12日を水路記念日と定めています。

明治初期、諸外国が、我が国周辺海域の水深を明らかにし海図を作製していく中で、国防のみならず海運・通商のためにも、我が国が自ら測量して海図を作製することが重要課題となっていました。

そのため、我が国独自で海図を作製するために明治4年に設立されたのが兵部省海軍部水路局で、その後、昭和24年には海上保安庁水路部、平成14年からは海上保安庁海洋情報部と変遷し、令和3年に150年目を迎えました。

【海洋情報資料館】

開館日：水、金、日曜日 ※9月のみ月曜日も開館

時間：午前10時～午後5時

場所：東京都江東区青海2-5-18

ゆりかもめテレコムセンター駅から徒歩5分

電話：03-5500-7155

